



NEW KOMEI TO  
公明党

# ぬまざわ議会 ニュース

〔発行所〕 公明党川崎市議団  
〔発行人〕 ぬまざわ 和明

〔連絡先〕 〒212-0055 川崎市幸区南加瀬 5-38-2-215  
電話 (044) 599-3984 FAX (044) 588-3222

## 5月臨時会 公明党を代表して質疑

### ◎震災対策補正予算について質問！！



**東日本復興支援と川崎市の災害時備蓄内容の見直し、放射性物質検査場所の増設や検査体制の充実を訴えました！！**

川崎市では、このたびの震災を受けて備蓄する品目の再検討を行うことになりました。

また小学校への分散備蓄や液化化被害への対応を促し、推進されることになりました。

放射性物質の検査については、現在南部地域1か所しかで行われていないために増設を求め、北部にも設置されることになりました。さらに市内の下水汚泥や県内の茶葉等からも放射性物質が検出されているため、市内産の農産物や校庭や園庭等の検査を行うことを訴え、数値を公表するとの答弁を引き出しました。

市内における避難所での情報提供の在り方やボランティア支援および中小企業資金繰り支援にも言及、制度の周知や拡充を約束させました。

災害時の備蓄計画見直しへ  
総務局長答弁  
川崎市は災害時に配給する食料などの備蓄計画を見直す方針を明らかにした。二十三日の市議会臨時会での代表質疑で、沼沢和明氏（公明）の質問に、菊地義雄総務局長が答えた。

久、乾燥米など食料や、おむつ、生理用品など生活必需品を市立中学校の倉庫に確保するといった「備蓄計画」を策定した。

しかし、東日本大震災で実際に必要とされた物を検証し、備蓄する品目を再検討する。

（栗原淳）

平成23年5月24日付東京新聞

### ◎石巻市へのボランティアに参加してきました！！

すこしでもお役にたてればと思い、往復深夜バスで石巻市にボランティアに行ってきました。

TV や新聞では分からない惨状を目の当たりにして、今後の復興支援への思いを熱くしてきました。

行政の手がまだまだ届かない地域があり、被災者だけの力だけでは手が付けられない状況でした。避難所の小学校には、いまだ自衛隊が駐屯していて瓦礫の撤去作業や行方不明者の捜索活動を継続しています。

人手が圧倒的に不足しています。様々なボランティアの長期的な支援が必要です。これからも復興支援に積極的に取り組んでまいります。



#### 市民活動センターでボランティアに助成

被災地支援のためのボランティアバスの借り上げ料やガソリン代・高速代等へ助成金が上限10万円まで支給されます。当初震災発生後11日までの申し込みで1カ月以内の出発に限定されていましたが、被災地が広域であることや復興が長期に亘ることなどから期間延長が図られました。ぬまざわ議員は、本市としてのさらなるボランティア支援策を講ずるよう求めました。

# 市政にあなたの声を!!



## ごあいさつ

東日本大震災で亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。4月の選挙では三期目の使命をいただき、身の引き締まる思いでいっぱいです。本市においても防災対策や議会改革等、取り組むべき課題は山積しています。皆様の声を実現するべく一生懸命働いてまいります。



## ◎新川崎地区に十ノ・テク研究施設整備!!



4大学（東大・東工大・早大・慶大）と連携した産学官共同研究施設が整備されます。2年間で46億円かけて環境、ライフサイエンス分野の産業に大きく貢献し得る開発拠点です。事業仕訳で国の整備費が認められず、本市単独で行うことになりました。今後の日本の産業を牽引する先端技術の研究が幸区から始まります。市民利用できる会議室も整備される予定です。

## 《鶴見川の手すり未設置階段!!》

地元の皆様の要望により、階段に手すりやスロープが設置されましたが、小倉の1か所が未設置のままです。この階段では一昨年から2人のけが人が出て救急搬送されています。今後の取り組みを質しました。国からは「予算が確保出来ず今後周辺工事を実施予定で、その際設置することが考えられる」との答えでした。矢上川の階段への設置を同時に求め、早期の設置を国に要請すると約束させました。



## 市営住宅建て替え計画が具体化!!



以前から市営住宅の改善を訴えてきましたが、順調に進んでいます。鹿島田住宅は今年度中に解体完了し、跡地利用に関しては公共施設等の活用について関係局と調整。塚越住宅は今年度設計完了し平成25年度完成予定で現在の住戸数72戸程度を見込んでいます。塚越第二住宅については平成27年度を目途に耐震対策を行うことなどが明らかに、また現在23戸の空き部屋があり利便性の高い住居であることから、早急に募集を行うべきと質しました。「店舗部分の所有者との協議が定まるまで停止する」との見解に対し早期締結を求めました。

議会開催中の大震災で、控え室も本棚やロッカーが倒れてきました。市役所前駐車場に避難すると目の前の電線やビルが大きく揺れていることがわかりました。長時間の停電や交通網のマヒで何時間もかかって自宅にたどり着いたなど、市民の皆様の不安も一際だったと思います。なおいっそう安全で安心して暮らせるまちづくりに邁進してまいります。

介護・住宅・医療など

暮らしの相談お気軽に! **TEL(599)3984**  
**Fax(588)3222**

Mail to [k-numa@numa-k.com](mailto:k-numa@numa-k.com)